

# 奥秩父縦走報告

2009 年 1 月 4 日(日)－9 日(金)

メンバー：後藤博志 (M2)

只左一也 (M2)

1 日目：塩山駅→(タクシー)→新地平→雁峠→  
雁坂小屋 (幕営)

2 日目：雁坂峠→甲武信小屋 (冬期小屋泊)

3 日目：甲武信小屋→国師ヶ岳→大弛 (幕営)

4 日目：大弛→金峰山→大日小屋 (幕営)

5 日目：大日小屋→瑞牆山→大日小屋→大日岩  
→八丁平→小川山南尾根の 2270m 地  
点(小川山から 1.5km 地点) (幕営)

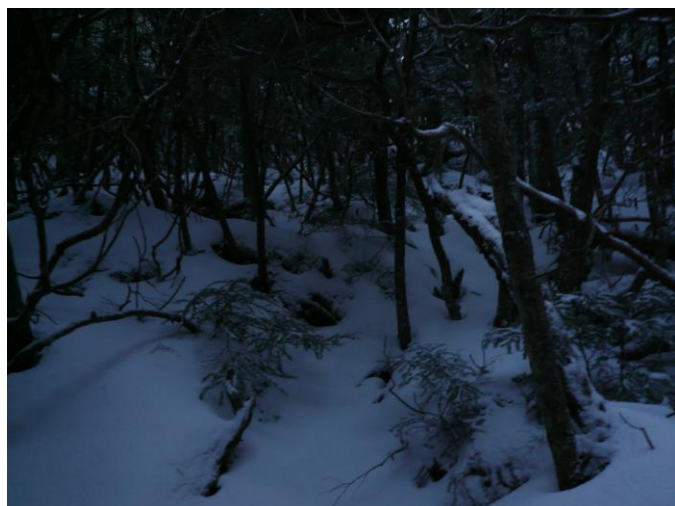
6 日目：幕営地→小川山→廻目平→川端下バス  
停→(バス) →小海線信濃川上駅

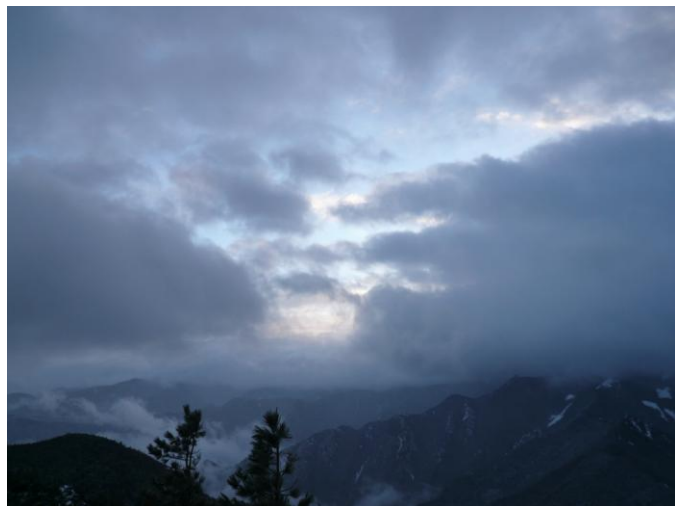
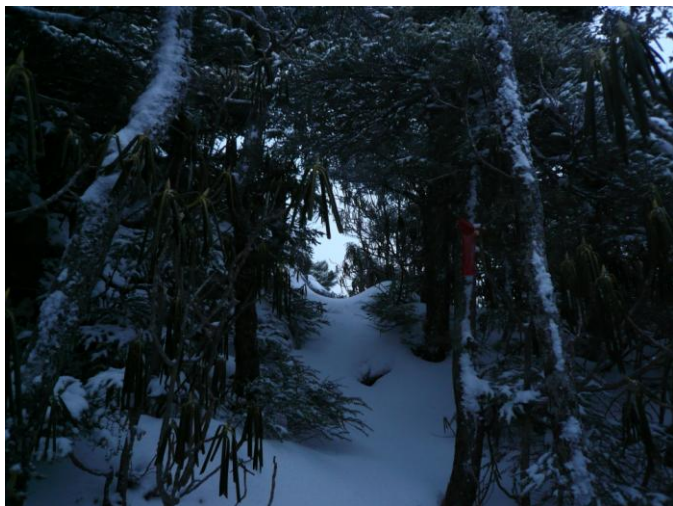
## 6 日目 (1 月 9 日(金))

|                  |         |         |
|------------------|---------|---------|
| 起床               | 04:00   |         |
| 幕営地点             |         | 06:40 発 |
| 見晴らしの良い岩峰        | 07:00 着 | 07:30 発 |
| 小川山山頂            | 08:30 着 | 08:40 発 |
| カモシカ登山道分岐        | 12:00 着 |         |
| 金峰山荘             | 13:10 着 |         |
| 川上牧丘林道分岐         | 13:40 着 |         |
| 川端下バス停           | 14:20 着 |         |
| (歩行時間：6 時間 30 分) |         |         |



テントを張った場所。夜から雪が降り始めた。新雪が  
数 cm 積もっていた。





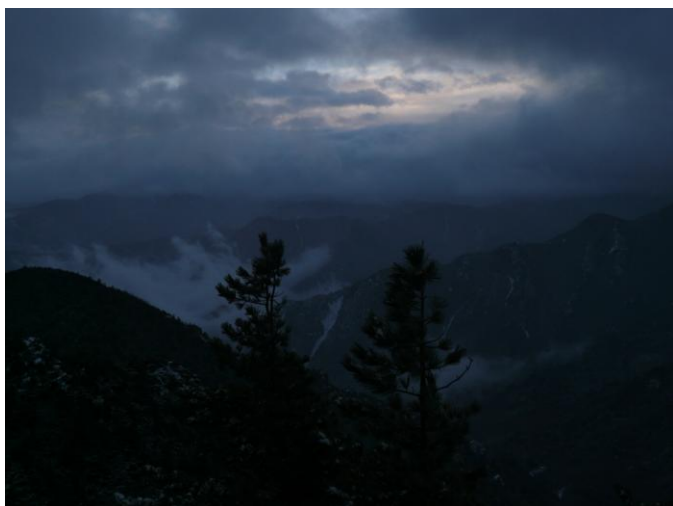
青空ものぞく



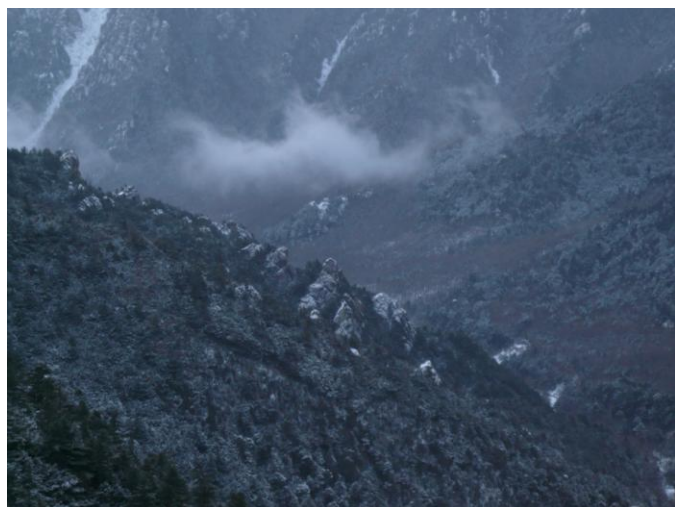
見晴らしの良い岩場に出た。雪はいつの間にか止んでいた。



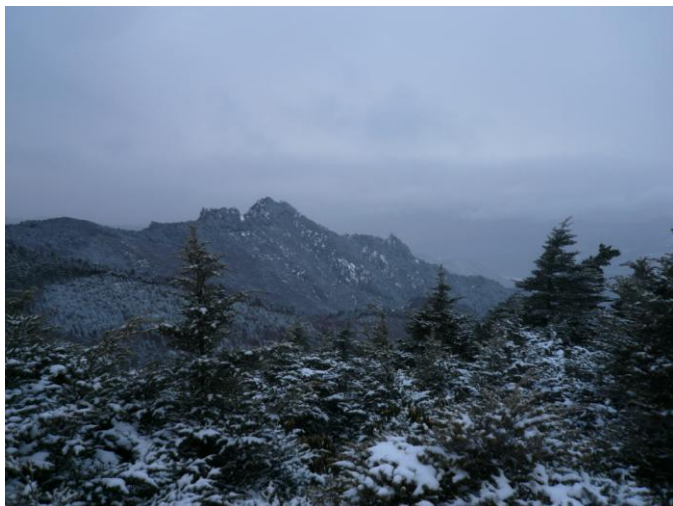
金峰山方面の眺め。風が南から吹いていて、雲が南から流れてくる。



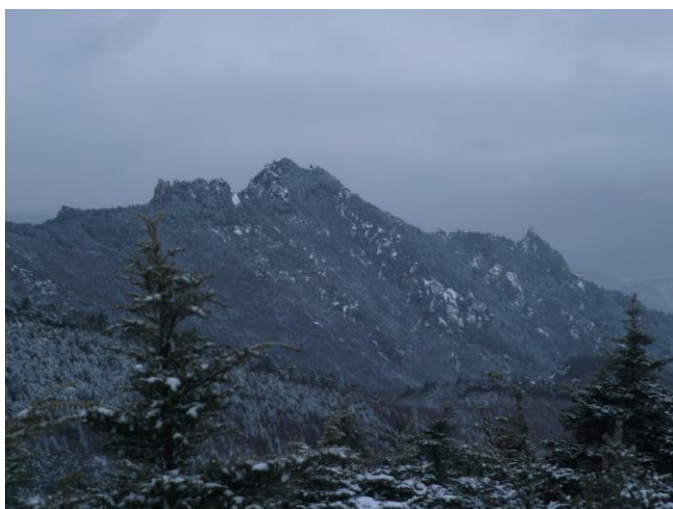
北の眺め。雲が切れてきた。







瑞牆山を北側から眺める



晴れそうでなかなか晴れない。30 分待ったが天気がこれ以上好くなりそうもないので、先へ進むことに。

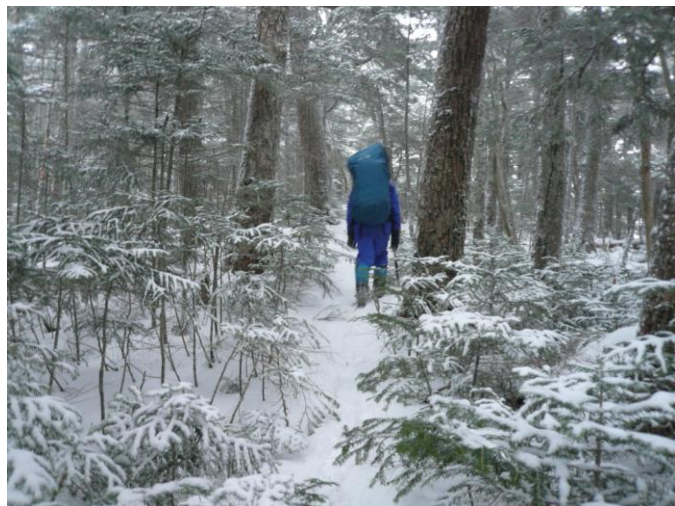


高い樹の林と低い樹の林が帯状に並んでいて、遠くから見ると縞模様に見える。



シャクナゲが密生する。小川山は本当にシャクナゲが多い。花の咲く 6 月頃に来てみたい。





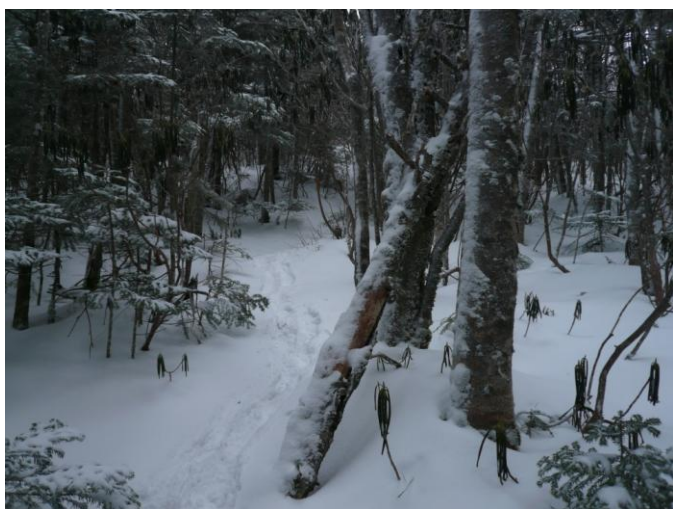




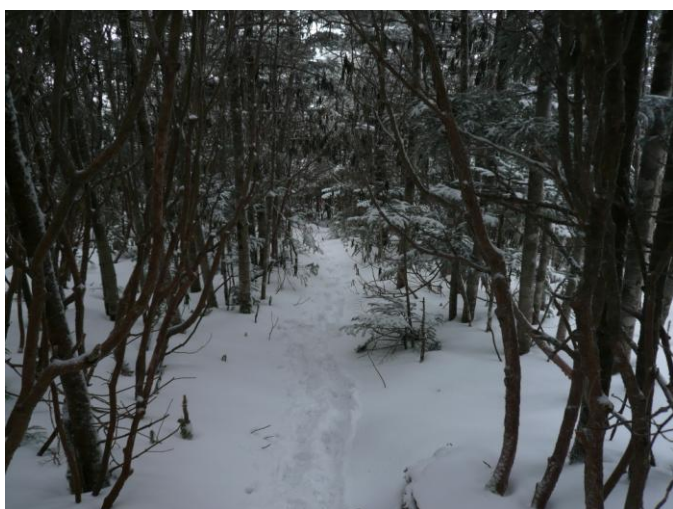
廻目平方面へ道の分岐。小川山山頂まであと少し。



小川山山頂に到着。樹林に囲まれて展望はない。雪は30cm程度。



分岐点まで引き返す。

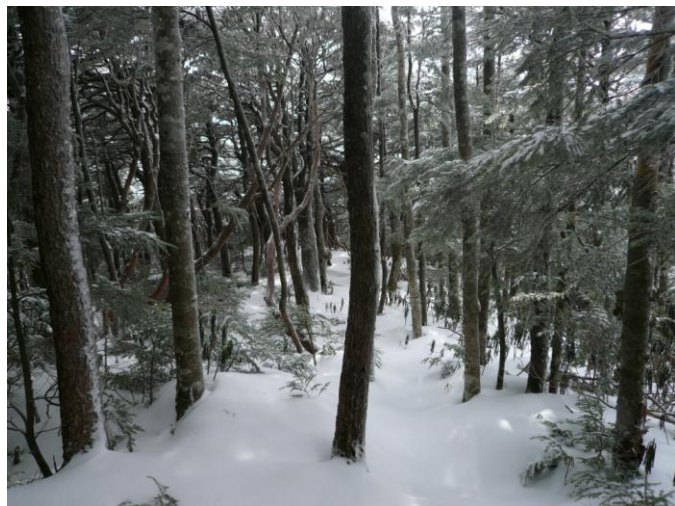


分岐点まで戻り、少し休憩。これから東へ下る。

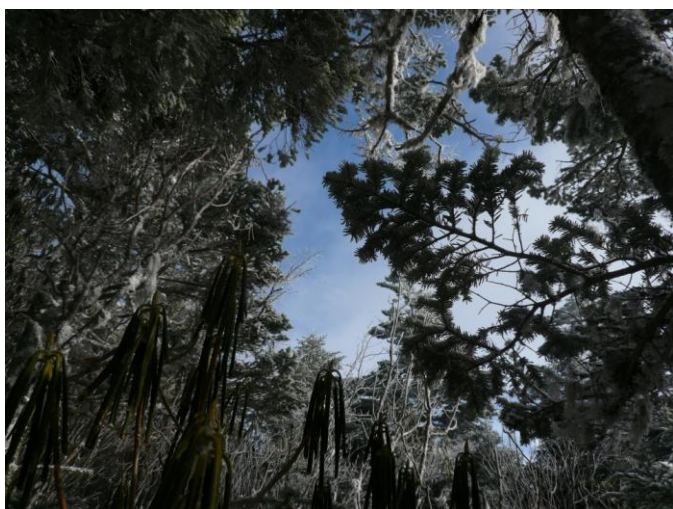




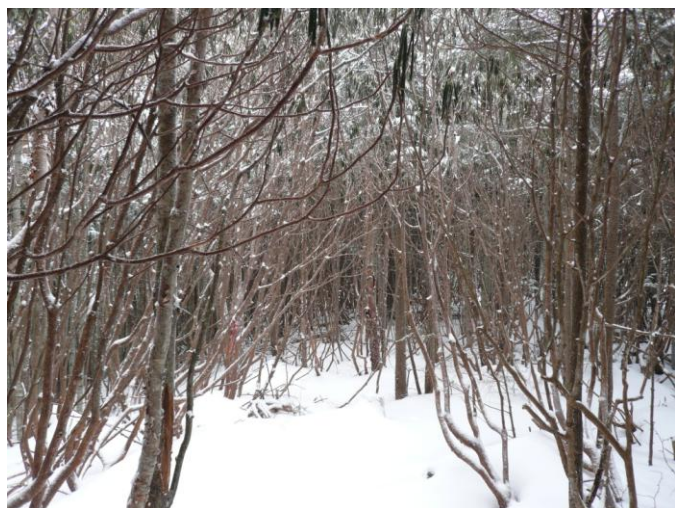
やはり雪は少なく、ワカンの出番はなかった。



シャクナゲと針葉樹の混ざる樹林帯を進む。雪が少なく歩きにくい。

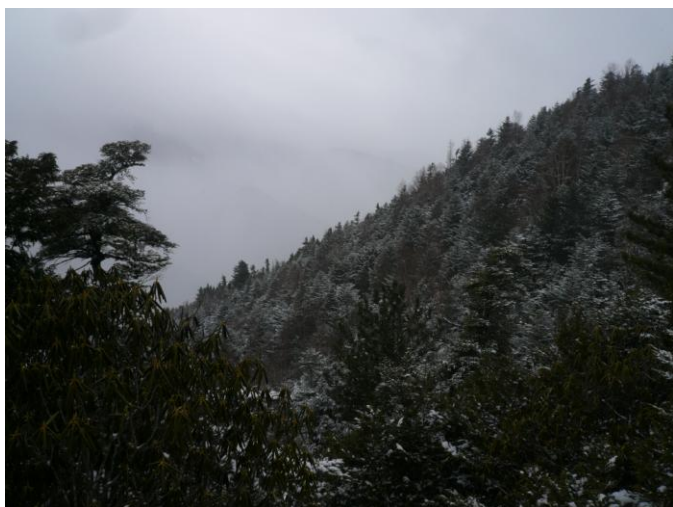


時折青空がのぞく。



ところどころシャクナゲが藪になっているところがあり、大きく迂回する。

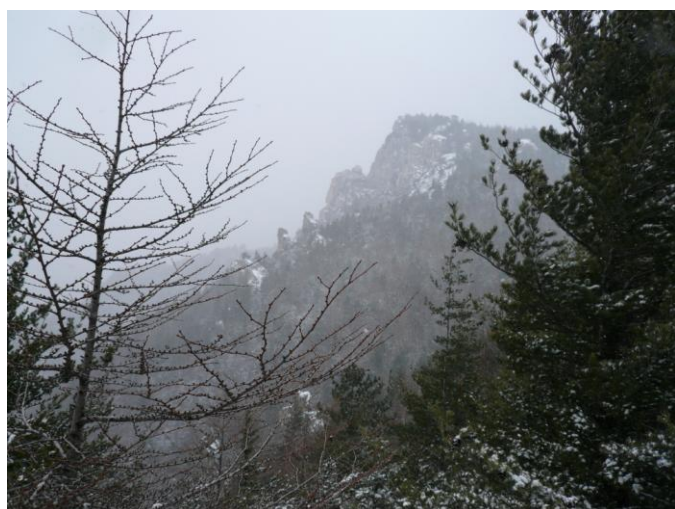




大きな岩が現れるようになった。

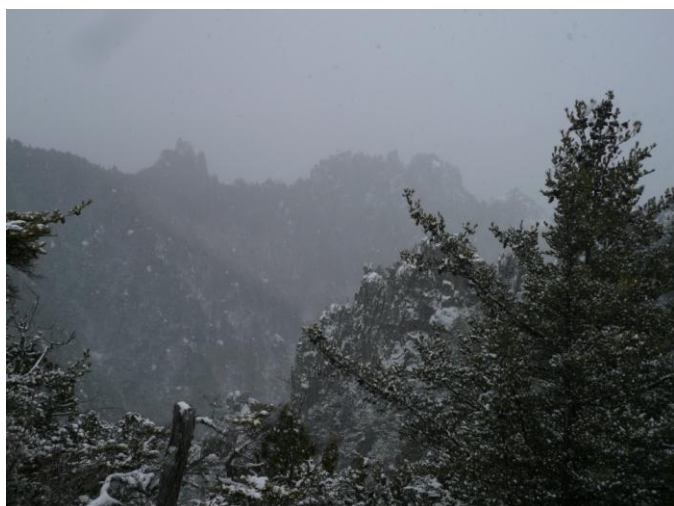


密生するシャクナゲをかきわけて進む後藤



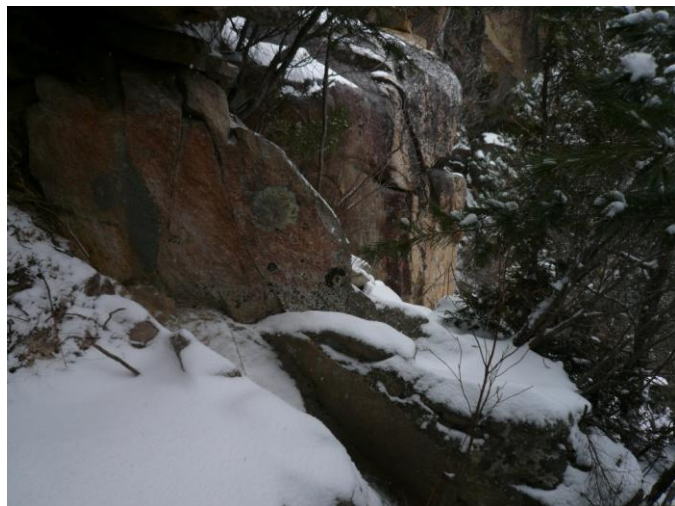
しだいに景色が荒々しくなってきた





道が良くないうえに雪が中途半端に積もっているの  
で、捻挫しないように慎重に歩く。



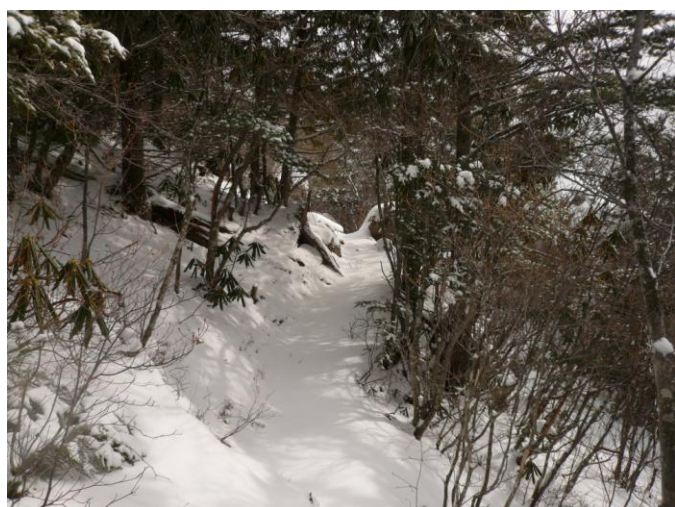
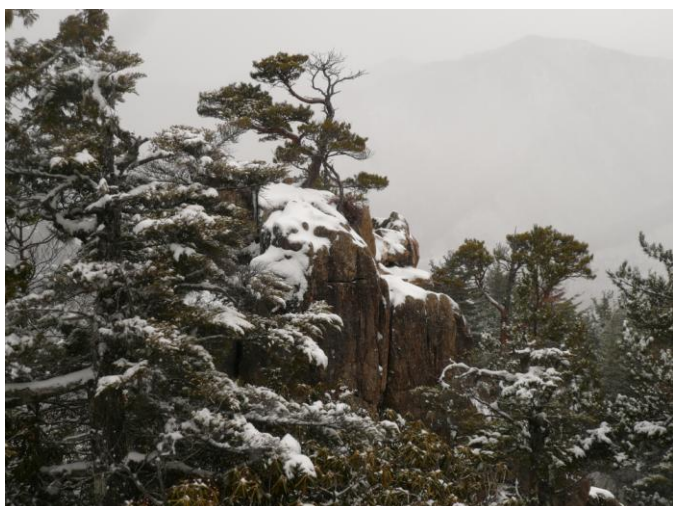


道が少し険しくなってきたが、危険を感じるほどではない。



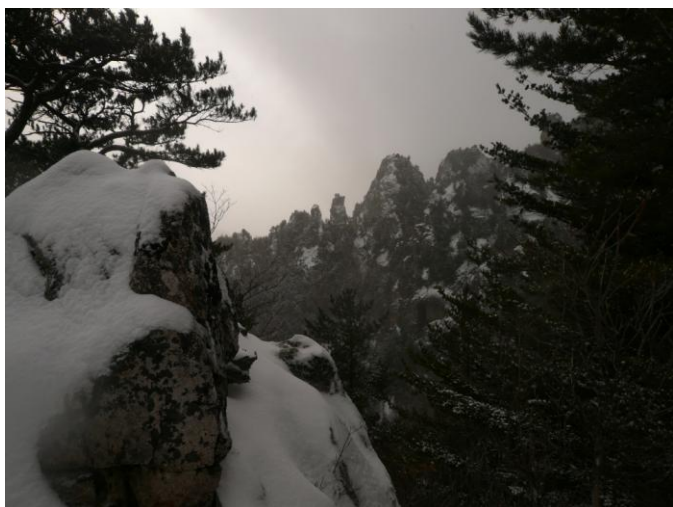
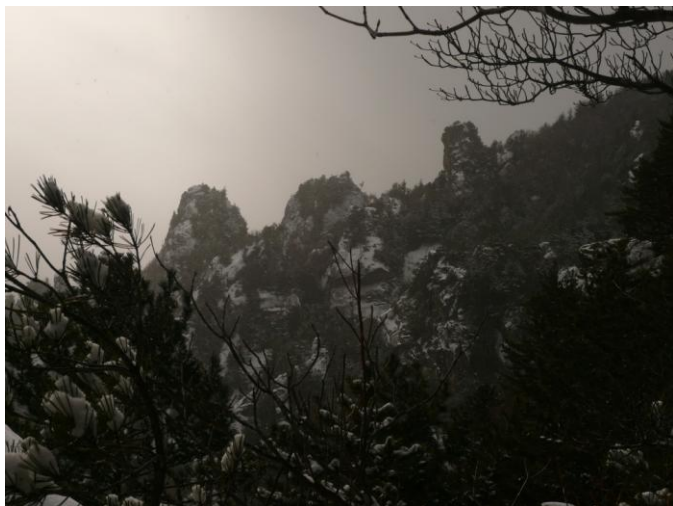
カモシカ登山道の分岐。



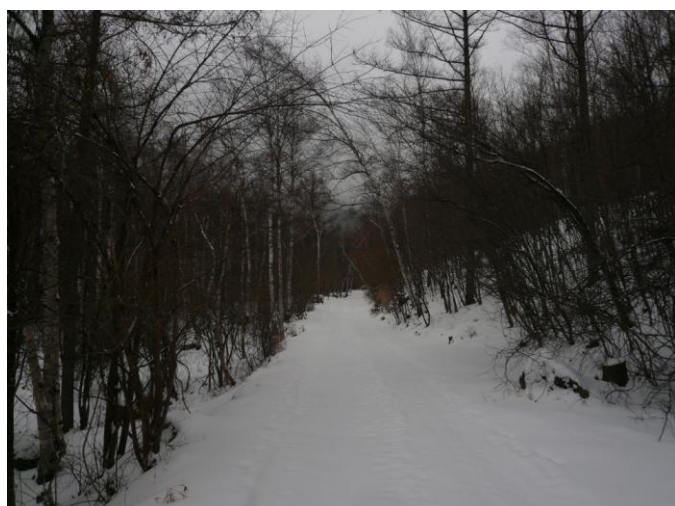
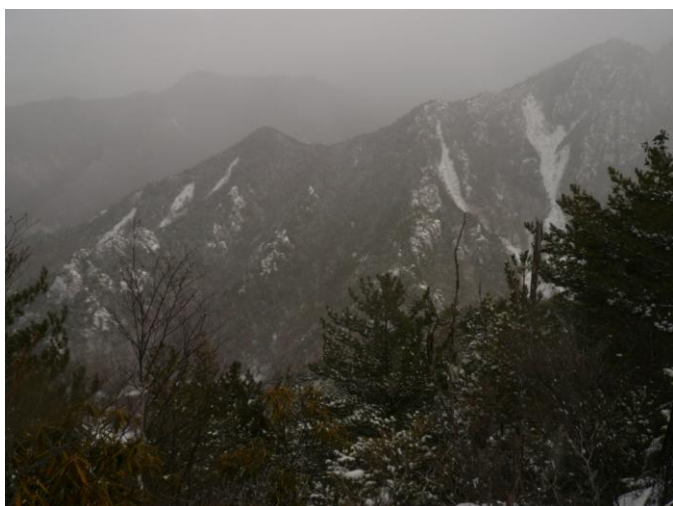


岩場の道が終わり、なだらかな道が続くようになった。  
林道までもう少し。

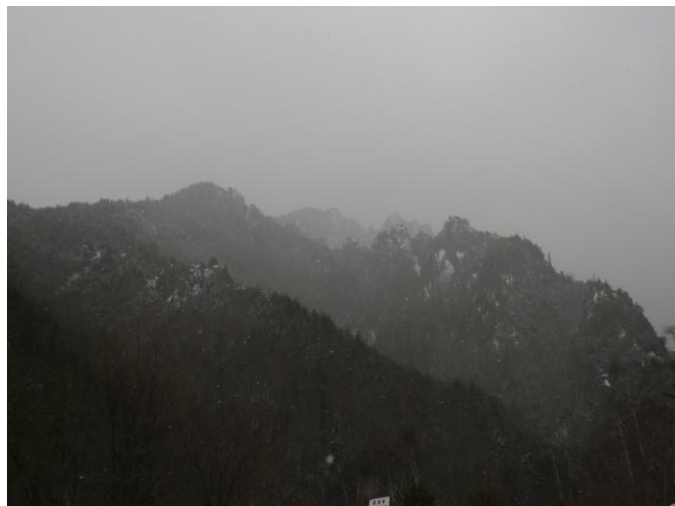




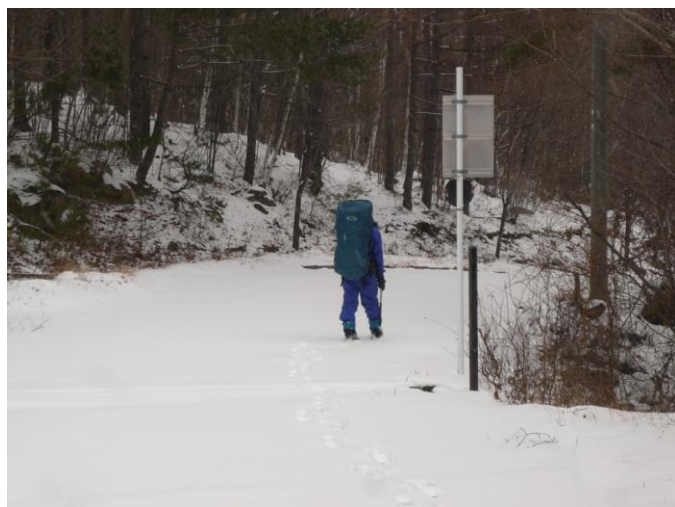
廻目平の林道に着いた。あとはずっと林道歩き。







金峰山荘



林道は下が凍っていて、何度か滑って転んでしまった。



白樺の木がお辞儀をしている林





川上牧丘林道と合流



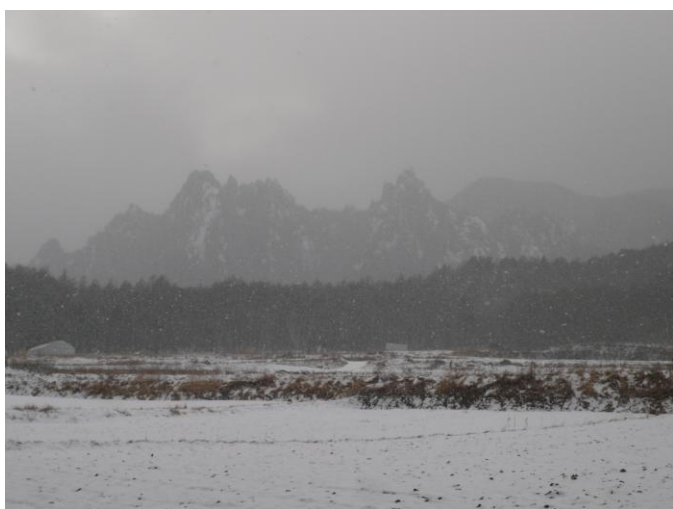
長野県川上村 川端下（かわはけ）の集落にたどり着いた



ゴールの川端下バス停に到着、バスで小海線の信濃川上駅に出て、小淵沢経由で帰京した。

6日間のうち5日が快晴で、しかも毎日暖かくて風もなく、天候に大変恵まれたのは幸いだった（私たちの下山直後から急に気温が下がり、川上村は連日最低気温が $-15^{\circ}\text{C}$ 以下を記録したようだった）。

奥秩父の深さと大きさを存分に味わい、大変充実した山行となった。



尾根岩岩峰群